

年・頭・所・感

コロナ禍という
新たな世界でも……

新年あけましておめでとうございます。2021 年（令和 3 年）の新年を迎えました。昨年は兎に角新型コロナウイルス感染拡大の話がズウ〜っとニュースで流れていました。そしてそれは年明けも続いています。新型コロナウイルスの影響で当本部における 2020 年の事業の多くは中止となってしまいました。会員・会友の皆様には十分な事業活動の機会をご提供できなかったことに対してお詫び申し上げます。そして、コロナ禍においてもオンラインセミナーや感染防止対策を取った上での委員会・研究委員会活動等を継続して頂き、関係者の皆様に感謝申し上げます。

昨年は東京オリンピック・パラリンピックの開催への期待を年頭所感で書きましたが、見事に外れて 1 年延期となってしまいました。政府は意地でも今年開催するような気がしますが、コロナ禍の中でどのような形での開催を計画しているのか気になることです。何はともあれ、会員・会友の皆様が安心して交流・会食できる世の中に早く戻って欲しいものです。

ずいぶん昔に読んだ本の中でウイルス支配説というものがあり、より多くの方が便利により早くより遠くへ移動するように発展してきたのは、実は陰でウイルスが自分たちの活動を広げるために仕組んでいる為だという話です。信じるか信じないかは別として都市伝説的な話ですね。ただ、新型コロナウイルスによって僅か半年で私たちの生活や働き方が変わった事は実感できます。一歩家を出るときには常時マスクを着用し、懇親会行事(宴会)がなくなり、入社式・入学式・卒業式の中止・延期・規模縮小、

森 隆 広 (もり たかひろ)

技術士(建設/総合技術監理部門)

公益社団法人

日本技術士会北海道本部 本部長



テレワークやオンライン授業による通勤・通学者数の減少や在宅消費サービスの増加、失業者と自殺者の増加、さらには押印の廃止や 40 年間実現しなかった学級人数の見直し、などなど。アベノミクスでも叶わなかった岩盤規制までもが影響を受けています。直径僅か 80-220nm (1 ナノメートルは 10 億分の 1 メートル) 程度しかないタンパク質で覆われた核酸の粒が世の中を一変させてしまいました。

この新たな世界で技術士はどのように公衆の安全、健康及び福利を最優先に考え、持続可能な社会の実現に貢献できるのでしょうか。21 の専門技術分野で直接コロナを退治する事は難しいですが、エッセンシャルワーカーの活動を支援する事はできそうです。機械部門では物流機械やロボットによる労働負荷の軽減や物流システムの効率化などを支援することが考えられます。私が登録している建設部門では防災・減災、国土強靱化によるインフラ整備を通じて被災者・避難者を減らす、緊急輸送路を確保する、移動や物流の安定・効率化を支援することが考えられます。とすることで、結局は感染防止対策を取りながら従来の技術士活動を地道に継続することが大事だということになってしまいますね。

今年はこのコロナ禍による環境の変化を奇貨として当本部ではオンラインを主流に事業活動を行っていきます。地方委員会とも連携し、地方にお住まいの方々も含めてより多くの会員・会友の皆様に CPD の機会を提供したいと思っております。当本部では、今後も会員・会友の皆様が活躍されることを祈念して技術士活動を支援して参りますので引き続きご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。